

和紙の里 ひおき

発行 平成30年12月25日
日置地区まちづくり協議会
鳥取市青谷町山根218
電話 0857-86-0836
FAX 0857-86-0837
Eメール cc-hioki@it.city.tottori.tottori.jp
題字 棚田 大さん

9号



ひおき収穫祭 & 因州和紙フェスタ 2018.11.11



おかげさまで多くの人で賑わいました。ご協力ありがとうございました。



日置の名司会者



城北太鼓



紙漉き唄



はねそ踊り



つくし会



さいとりさし(覚寺)



オカリナ演奏



新体操(A.R.G)

ひおき収穫祭 & 因州和紙フェスタ2018

日置地区まちづくり協議会会長 城市好春

去る11月11日(日)朝10時、長年交流を深めている城北地区から参加いただいた「城北太鼓」の爽やかで力強い音色が響き「ひおき収穫祭 & 因州和紙フェスタ2018」がオープンしました。

続いて、房安実行委員会会長、忙しい中出席いただいた深澤鳥取市長の挨拶のあと待ちに待った開幕です。

透けるような青空の下、あおや和紙工房前広場では、第1部イベントとして「紙漉き唄」、日置はねそ踊り保存会による「はねそ踊り」、小畑つくし会の「傘踊り」などの演技が続き、集まった多くの観客を魅了しました。

また、第2部として初めて見る鳥取市覚寺の“さいとりさし”、オカリナ演奏と続き、最後は青谷の子供たちによるかわいい新体操でしめくりました。

さて、「ひおき収穫祭」の目玉「青空市」テントには今年も多くの地元農産物や加工品などが並び大盛況です。また、各集落による屋台コーナーもたくさんのお客さんで賑わいました。

今年の“おもてなし”企画「アツアツの猪汁」、「杵つきもち」の振る舞いには驚くほどの長蛇の列でした。ほんとうに嬉しい限りです。これで弾みがついてますます楽しさ倍増していただけたのではないのでしょうか。



賑わう屋台・青空市



振る舞いに長蛇の列

「和紙フェスタ」の会場は日置体育館とあおや和紙工房が中心でどちらも沢山の観客であふれました。

体育館でのイベントでは、書家の柴山抱海氏によるダイナミックな揮毫(きごう)に観客は無言の驚きの様子、続いて県立八頭高校書道部による書道パフォーマンスが行われ、集団演技のすばらしさに感動の連続です。

また作品展には、日置の匠を紹介するコーナーをはじめ、すくすく保育園児、青谷小・中・高校生の様々な作品、生け花や日置公民館事業作品など工夫を凝らした作品が並びました。

和紙工房では紙漉き無料体験が行われました。体験を終えた方に聞いてみると「紙ができる仕組みがよく分かりました。これからは大事に使います。」と満足な様子で“何かおいしいもの食べよう”と友人と屋台の方へ……。

旧公民館前のお楽しみ広場では子供たちがポニーの乗馬体験や子やぎとのふれあい等、普段味わえない体験を満喫していました。

何度も実行準備会を開催して話し合った事が実り、スタッフ一同安堵するとともに、何よりも天候に恵まれて満足な一日でした。

各集落の役員さんや公民館役員さんをはじめ、ボランティアで頑張ってくれた中学生や、青空市に出品していただいた多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。

3月までの事業予定

- 2月10日(日) 日置を語る会
- 3月10日(日) 健康づくりウォーキング
- 3月17日(日) 日置川クリーン作戦

本年中は皆様にご大変お世話になりました。

良いお年をお迎えください。
来年もよろしくお祈りいたします。



みんなで いい風景に！

環境部会長 大西 良幸

去る9月23日(日)、運動会前の環境整備が行われました。

まさかの台風24号来襲で、当日の運動会は中止になりましたが、まちづくり協議会環境部会はもとより、各集落の公民館社会部・老人クラブ・評議員さん、その他多くの地区住民の皆さまの



ご協力有難うございました

ご協力のおかげで、すっきりした景色になりました。心からお礼申し上げます。

さて、この台風により日置川の護岸も何箇所か被害を受け、復旧工事が進められています。来年から新たな元号になりますが、この日置川が災害に強くて多くの人が麗(うら)らかな川辺の散歩を楽しんでいる、そんな風景の時代にしたいものです。

来春の3月17日(日)午前8時30分から『日置川クリーン作戦』が予定されています。引き続き皆さまのご協力をお願い致します。

獣害に強い里づくりに向けて

山の方から“キャーアア”とか“ピーーイイ”という悲鳴のような声が、この秋頃からよく聞こえてくるようになりました。

その声の主はシカ(鹿)、それもオスジカ。

シカは繁殖のスピードがとても早く、数が増えて被害が出始めてからでは捕獲もなかなか追いつきません。

シカは、田畑の農作物だけでなく、山の草木や庭木など、毒がある植物以外はみんな食べてしまいます。

シカ被害が甚大な兵庫県などでは、集落・農地の回りに2メートルほどの高さの柵を張り巡らせる対策をしています。

あちこちで耕作放棄地が増えて、イノシシやシカなどの生息域が人里に入り込んできています。まずは、地区ごとに将来的に守っていくべき田畑等の範囲(境界線)をみんなで確認しながら、侵入防止や捕獲など具体的な備えを進めていきましょう。



【防災部会】

防災部会長 房安 光

防災部会では、9月23日(日)午前9時から「日置地区総合防災訓練」を実施しました。好天のもと、午前8時からの環境整備に参加された方々も一緒になっての賑やかな開催でした。

訓練は3部構成で行われ、第1部は「土砂災害に関する出前講座」で、鳥取県土整備事務所より2名の講師にお出で頂きました。土砂災害は、「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」の3種類に分類されること、それぞれの事例、前兆現象、避難等についてパワーポイントで約1時間の講演でした。質問にも丁寧にお答え頂き大変有意義な講座になりました。



土砂災害に関する出前講座

第2部は、地区公民館での「火災通報・避難訓練」。調理室より出火の想定で、地区公民館自衛消防隊長前田館長の指揮のもと、各室より約25人が整然と避難行動出来ました。

第3部は、第5分団の指導による「消火栓放水訓練」でした。参加は、山根自主防災・消防団、河原自主防災、地区公民館の皆さん。場所や状況によってはホース延長、伝令の方法などを丁寧に指導して頂きました。又、火災発生時の対応、連絡等についてもお話し頂き、万一の時に大いに役立つ訓練となりました。「日置地区総合防災訓練」にご協力、ご参加有り難うございました。

安全・安心な地区づくりのため、今後とも引き続き訓練に励み、災害対応能力を向上させましょう!!

【特産品部会】

特産品部会長 水砂 満則

特産品部会では、今年度、そば作り、こんにやく芋の植え付けを行いました。そば作りにおいては、関係者の皆様には酷暑の中、草刈、耕運、種まきと協力いただきありがとうございました。

残念ながら夏の酷暑と長雨で、そばとこんにやくの収穫は、あまり良くありませんでしたが、ひおき収穫祭では、そばサークルの皆様の協力により、日置産の手打ちそばを出品出来ました。「美味しい、美味しい」と評判です。

ひおき青空市で販売する手作りこんにやくも毎年好評で、品切れとなっています。

好評と言えば、「手作りみそ」もそうです。これこそ手前みそではありませんが、原料に余分な物を入れず大豆と麴と塩のみ、自分で手作りするから安心・安全、その上香りよし、味よしです。毎年1月～3月にみそ作りを数回開催しています。公民館だよりにて日程表確認の上、お馴染みの方も初めての方も是非ご参加ください。

最後になりましたが、関係者の方にはご協力いただき、ありがとうございました。



できあがったみそを分ける様子



4回目の健康づくり講座を開催

福祉部会長 中宇地 節雄

10月13日(土)に、4回目となる健康づくり講座を開き、鳥取生協病院の齋藤基医師を講師にお迎えしました。会場の日置地区体育館には80人を超える多くの参加がありました。



健康づくり講座

脳外科医である齋藤先生は「脳の話」と題して講演されました。

そのなかで、脳は前頭葉や側頭葉などに分かれていて、それぞれがどのような働きをしているのかを、画像で詳しく解説されました。

齋藤先生は、認知症の6割～7割を占めるアルツハイマー型のほか、レビー小体型や脳血管性型などの認知症があり、脳のどの部分が病気になったのかによって、現れる症状が大きく違うことを説明されるとともに、早期発見・早期治療の大切さを話されました。そして、認知症の予防には生活習慣病を予防して血管を生き生きと元気にしておくことが大切だと力説されました。

来年3月10日(日)には、3回目となる「健康づくりウォーキング」を実施することになっています。今回は小畑を歩く予定です。健康づくりとあわせて、日置地区の再発見にもつながるものと思います。ぜひとも多くのおみなさまがご参加くださり、春の陽ざしを満喫しましょう。



前は河原をウォーキングしました